

データ作成ツールvol.3 手順書(サマリー) (一部抜粋)

糖尿病性腎症重症化予防プログラム 事業評価のためのデータ作成ツール 手順書(サマリー)

1.03版

令和2年3月

令和元年度厚生労働科学研究補助金
循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業

糖尿病性腎症重症化予防プログラムの効果検証と
重症化予防のさらなる展開を目指した研究

研究代表 津下 一代

本サマリーは、「データ作成ツール」使用についての全体イメージをもっていただくための概要版になります。詳細版である手順書と合わせて使用いただけますと幸いです。

3 データを格納する

(1) データファイルの準備

以下のデータを準備します。

- ①平成30年12月に作成した2015、2016年度の出カファイル
作成している場合のみご用意ください。存在しない場合でもカンパレンスシートは作成可能です。

- ②令和元年9月に作成した際の2017、2018年度の入カファイル

	2015 (任意)	2016 (任意)	2017	2018	5年間履歴 (任意)
手入力	—	—	保険者保育情報入力ツール_2017	保険者保育情報入力ツール_2018	※用意している場合のみ
KDB	—	—	介入支援対象者一覧_2017	介入支援対象者一覧_2018	5年間の履歴_1 5年間の履歴_2 5年間の履歴_3 : B-1に登録した人数分
特定健診結果等	—	—	FKAC163_2017	FKAC163_2018	—
出カファイル	〇×市_2015年度	〇×市_2016年度	—	—	—

(2) 平成30年12月に作成したファイルの格納

※本項の作業は(1)①のデータを作成している場合のみ実施してください。

- 1) ツールの「出カファイル」フォルダにアクセスする

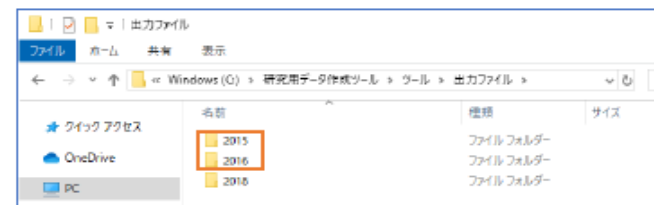
{ツールをインストールしたフォルダ} \ ツール \ 出カファイル

※ {ツールをインストールしたフォルダ} は、通常は「C:\研究用データ作成ツール」です。



- 2) 「出カファイル」フォルダの中に以下のフォルダを作成します。

- 2015
- 2016



4 研究用データを作成する

(1) 処理年度ごとにツールを実行する

本書 P6 の3で準備したデータを、処理年度ごとのツールに格納し、研究用データ excel を出力します。



- ・処理年度を2017にする
- ・1 保険者保有情報取込
「保険者保有情報入力ツール_2017を格納」
- ・2 KDBデータ取込
「介入対象者一覧_2017」
「5年間の履歴（人数分）」を格納
- ・3 特定健診結果等情報取込
「FKAC163_2017」を格納
- ・4 研究用データ作成
出力した研究用データ excel をファイル名変更せず
そのまま保存



- ・処理年度を2018にする
- ・1 保険者保有情報取込
「保険者保有情報入力ツール_2018を格納」
- ・2 KDBデータ取込
「介入対象者一覧_2018」
「5年間の履歴（人数分）」を格納
- ・3 特定健診結果等情報取込
「FKAC163_2018」を格納
- ・4 研究用データ作成
出力した研究用データ excel をファイル名変更せず
そのまま保存



手順書 P39~50 参照

5 カンファレンスシートを作成する

(1) 条件設定

本書 P8 の4で研究用データが作成されると、カンファレンスシート作成機能の「出力年度」が選択できるようになります。

対象年度を選択し、必要に応じて被保険者証記号・番号を入力します。

※「2015」、「2016」は本書 P6 の3（2）でファイルを格納した場合のみ表示されます。

(2) 出力

「5. カンファレンスシート作成」ボタンをクリックし、ファイルを出力します。

詳細は手順書をご参照ください。



手順書 P53~54,68~69 参照

以上